

第5章 具体的な取組

1. 取組の全体像

将来ビジョンの実現に向けて、地域一体となって推進すべき取組を、『1 雪の街の魅力と観光都市の魅力を融合した札幌ならではの魅力を創出する取組』、『2 観光客の満足度向上と効果的な誘客を目指して魅力を提供する取組』、『3 道内スノーリゾートとの周遊を促す広域連携の取組』という3つの取組テーマと、それぞれのテーマに沿った6つの基本方針により整理します。また、基本方針に基づき、今後推進すべき具体的な取組を「推進が必要な取組」として整理し、特に優先して推進すべき取組を「重点取組」として位置付けます。

1つ目の取組テーマの「魅力の創出」については、まずは、『①観光客の多様なニーズに対応できるスキー場へのレベルアップ』と、『②雪の街札幌ならではの観光コンテンツの充実』に取り組むことで「雪の街」としての魅力を高めたうえで、『③ブランド力向上や周遊促進に向けた事業者連携の推進』により、国際観光都市としての魅力や機能、ブランド力を付加するとともに、街全体で1つのスノーリゾートとしての一体感を醸成することで、スノーリゾートシティSAPPOROにしか提供できない世界で唯一の価値を創出していきます。

2つ目の取組テーマの「魅力の提供」については、街全体で1つのスノーリゾートとして機能し、観光客の快適な滞在を実現するため、『④来訪者の満足度を高めるストレスフリーなサービス・インフラの提供』に取り組むとともに、『⑤スノーリゾートとしてのブランド化を目指したマーケティングの強化』により、届けたいターゲットに対して必要な情報を的確に提供し、認知度向上と効果的な誘客につなげていきます。

3つ目の取組テーマの「広域連携」については、ブランド力を高めたスノーリゾートシティSAPPOROが、その強みや特徴を活かして、『⑥道内スノーリゾートとの広域連携の促進』に取り組むことで、北海道全体のスノーリゾートエリアとしての価値向上に寄与していきます。

取組の全体像

1 雪の街の魅力と観光都市の魅力を融合した札幌ならではの魅力創出

基本方針① 観光客の多様なニーズに対応できるスキー場へのレベルアップ

基本方針② 雪の街札幌ならではの観光コンテンツの充実

基本方針③ ブランド力向上や周遊促進に向けた事業者連携の推進

2 観光客の満足度向上と効果的な誘客を目指した魅力の提供

基本方針④ 来訪者の満足度を高めるストレスフリーなサービス・インフラの提供

基本方針⑤ スノーリゾートとしてのブランド化を目指したマーケティングの強化

3 道内スノーリゾートとの周遊を促す広域連携

基本方針⑥ 道内スノーリゾートとの広域連携の促進

取組の全体像のイメージ

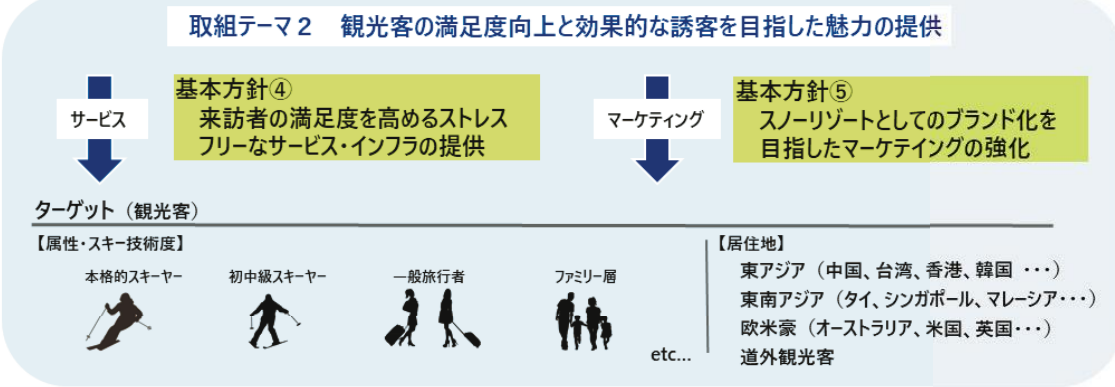
魅力の創出



創出した魅力を顧客に提供、情報発信

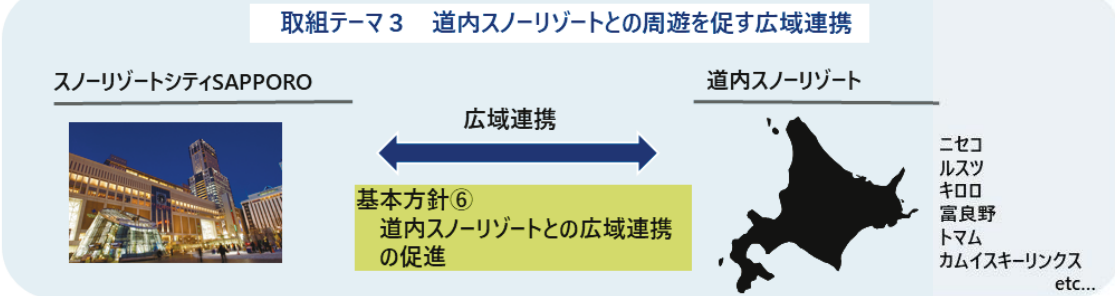
マーケティングに基づく更なる魅力の創出

魅力の提供



「スノーリゾートシティSAPPORO」としてブランド化

広域連携



北海道全体で「一大スノーリゾート」としてのブランド価値向上

第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

第6章

資料

2.基本方針と具体的な取組

(1)基本方針1 観光客の多様なニーズに対応できるスキー場へのレベルアップ

① 取組の方向性

スノーリゾートとしての札幌の魅力を高めるためには、まずは、市内スキー場の個々の魅力を高めていくことが重要です。

そこで、市内スキー場をより多くの観光客に利用してもらえるよう、観光客のニーズを意識したスキー場の魅力向上に向けた取組を基本方針1として掲げます。

なお、具体的な取組にあたっては、第4章3(2)で整理した「市内スキー場に期待される役割・将来像」を踏まえ、各スキー場の特徴を活かしながら進めていきます。

基本方針1 『観光客の多様なニーズに対応できるスキー場へのレベルアップ』

目指す姿 (10年後に 実現したい姿)	<ul style="list-style-type: none"> 市内6スキー場が、それぞれの特徴を活かした魅力を高め、スキーヤーにとって満足度の高いスキー場になっている。 未経験者でも手軽に安心して体験できる観光客のスキーデビューに最適なスキー場になっている。 観光客がスキー・スノーボード以外の目的でも訪れたい幅広い魅力を備えたスキー場になっている。 1年を通して、市民も含めて誰もが快適に楽しめる場所になっている。 		
課題	<ul style="list-style-type: none"> ✓スキーヤーのニーズに対応した施設やサービスの提供 ✓スキーヤー以外でも楽しめるコンテンツの創出 ✓誰にとっても快適なスキー場となるための受入環境整備 		
取組の 方向性	<p>未経験者やスキー・スノーボードをしない人も含めて、観光客に楽しんでもらう目線を取り入れ、各スキー場の特徴を活かした魅力向上に取り組むとともに、スキーヤーが求めるニーズにも対応した満足度の高いスキー場を目指した取組を進めます。</p>		
推進が 必要な取組	取組項目	重点 取組	誘客戦略との関連 戦略① 戦略②
	スキーヤーの満足度を高める施設整備やサービス提供	★	●
	観光コンテンツとしてのスキー場の魅力創出	★	●
	観光客のスキーデビューに最適なサービスの提供		●
	観光客が快適に滞在できる受入環境の整備		● ●
	持続可能なスキー場運営		● ●

② 推進が必要な取組

観光客の多様なニーズに対応できるスキー場を目指すためには、スキーヤーの満足度を高める魅力と、スキー・スノーボードをしない観光客でも楽しめる魅力の、両方の魅力を高めることが必要であることから、それぞれのニーズに応じた魅力創出に向けた取組を重点取組として定めます。

推進が必要な取組

重点 1-① スキーヤーの満足度を高める施設整備やサービス提供

取組内容	<p>施設・設備の更新等による快適性・機能性の向上や、コースレイアウトの充実、付加価値の高いサービスの提供などにより、スキーヤーのニーズに対応した満足度の高いスキー場を目指します。</p> <p>また、スキー場における施設整備等にあたっては、良好な自然環境等の保全を前提としたうえで、限定的な土地利用についての検討も併せて進めます。</p>			
想定される実施主体	スキー場事業者 札幌市(土地利用に関する検討)	誘客戦略1	●	誘客戦略2

<具体的な取組>

項目	内容
施設・設備の更新・機能向上	老朽化したリフト・ロッジの更新や、スキー合宿等に便利な宿泊施設を併設するなど、スキー場の施設・設備の機能や快適性を高めることにより、スキーヤーの満足度を向上
コースの整備・改良	あらゆる技術度やニーズに対応できるスキー場を目指した、新たなコースの増設や既存コースの改良、スノーボーダー向けのパークの充実等
観光客向けレッスンの充実	インバウンドや観光客でも楽しく上達できるよう、多言語インストラクターの確保やスキー技能検定制度の活用など、観光客向けレッスンの充実
付加価値の高い商品やサービスの提供	パウダースノーの魅力が堪能できる非圧雪コースの拡充や早朝特別入場サービス、ハイグレードのレンタル用品の充実、質の高いサービスが提供可能なガイドやコンシェルジュの育成など、付加価値の高い商品・サービスの提供

第1章
第2章
第3章
第4章
第5章
第6章
資料

推進が必要な取組

重点 1-② 観光コンテンツとしてのスキー場の魅力創出

取組内容	観光客がスキー・スノーボード以外の目的でも訪れたいくなる多彩な魅力を備えたスキー場を目指し、スキー場ならではの雪を活かしたコンテンツの充実を図ります。 また、ファミリーやグループでの来場を想定し、スキー・スノーボードをあまりしない同行者でも滞在を楽しむことができるスキー場を目指します。				
想定される実施主体	スキー場事業者 関連事業者(飲食事業者、協賛企業等)	誘客戦略1		誘客戦略2	●

<具体的な取組>

項目	内容
スキー場ならではの スノーアクティビティの充実	ウインタースポーツ未経験の観光客や子どもでも気軽に雪体験ができるよう、キッズパークを拡充するなど、スキー場ならではの雪遊びやスノーアクティビティの充実
ゆったりと雪を満喫できる コンテンツの創出	雪景色や眺望が楽しめる展望台やカフェ等の整備、スノーシューによる雪見ツアーなど、アクティブな雪体験を求めている観光客でも、ゆったりと雪を満喫できるコンテンツの創出
レストランやカフェなど 滞在を楽しむ施設の充実	スキー場のレストランやカフェのメニューを充実させるなど、スキーヤーやその同行者がスキー場での滞在を楽しめる施設の充実
スキー場でのイベント開催	メディアやスポンサー企業等と連携し、スキー場内でイベントを開催するなど、普段スキー場を訪れない層にもスキー場の魅力を知ってもらう機会の創出
撮影スポットの設置など 観光客の発信を促す仕掛けの構築	雪像やイルミネーション等を活用した写真映えする撮影スポットをスキー場内に設置し、訪れた観光客に撮影した写真をSNS等で発信してもらうなど、ブランド化につなげる仕掛けを構築

推進が必要な取組

1-③ 観光客のスキーデビューに最適なサービスの提供

取組内容	初心者の観光客、インバウンドや子どもでも、気軽に安心してスキーデビューができる環境の整備を進めるとともに、限られた時間で楽しみながら上達を実感できるよう、初心者向けプログラムの充実を目指します。				
想定される実施主体	スキー場事業者	誘客戦略1		誘客戦略2	●
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> • 初心者の観光客向けの導入プログラムの開発 • 手ぶらで手軽に体験できるようレンタルサービスの充実 • 子どもが楽しみながらスキーに触れることのできるキッズプログラムの充実 				

1-④ 観光客が快適に滞在できる受入環境の整備

取組内容	インバウンドを含めた観光客が、不自由なく快適にスキー場での滞在を楽しめるよう、受入環境の整備を進めます。				
想定される実施主体	スキー場事業者	誘客戦略1	●	誘客戦略2	●
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> • キャッシュレス決済環境整備 • 無料 Wi-Fi 環境の整備・強化 • 多言語による案内サインの充実 				

1-⑤ 持続可能なスキー場運営

取組内容	市内スキー場利用者のうち高い割合を占める市民利用の確保、年間を通じたスキー場の活用、雪不足への対応など、持続可能なスキー場運営を目指します。				
想定される実施主体	スキー場事業者 札幌市(市民利用促進)	誘客戦略1	●	誘客戦略2	●
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> • 市民利用を促すキャンペーン、市民向けのリフト券助成等 • グリーンシーズンのコンテンツ造成 • 人工降雪機の導入 				

(2)基本方針2 雪の街札幌ならではの観光コンテンツの充実

①取組の方向性

多くの観光客が訪れている国際観光都市札幌には、すでに豊富な観光コンテンツが存在していますが、スノーリゾートとしての魅力を高めるためには、冬の札幌でしか体験できない特別感のあるコンテンツを更に充実させることが必要です。

そこで、雪の街としての札幌の強みを活かした観光コンテンツの充実に向けた取組を、基本方針2として掲げます。

なお、具体的な取組にあたっては、冬季オリンピック開催都市としてのレガシーを活用するなど、ウインタースポーツの拠点都市札幌ならではの魅力を活かしながら進めていきます。

基本方針2 『雪の街札幌ならではの観光コンテンツの充実』

目指す姿 (10年後に 実現したい姿)	<ul style="list-style-type: none"> 冬期シーズンを通して、札幌の冬ならではの魅力的な観光コンテンツが多数存在しており、札幌を訪れる観光客に豊富な選択肢が提供されている。 冬季オリンピック開催都市のレガシーが積極的に活用され、ウインタースポーツに触れる機会にあふれた、冬のオリンピックシティとしての雰囲気漂う街になっている。 		
課題	<ul style="list-style-type: none"> ✓冬の体験型コンテンツの充実 ✓冬の特徴をプラスした観光コンテンツの魅力向上 ✓さっぽろ雪まつり後のにぎわい創出 ✓ウインタースポーツの街としての魅力発信 		
取組の 方向性	冬こそ札幌に行きたいと思ってもらえるよう、雪の街の魅力と観光都市の魅力を掛け合わせた観光コンテンツの創出や、気軽に雪や冬を体感できるアクティビティの充実を目指します。		
推進が 必要な取組	取組項目	重点 取組	誘客戦略との関連 戦略① 戦略②
	ウインタースポーツ体験コンテンツの充実	★	● ●
	都心部近郊や定山溪周辺での雪体験コンテンツの充実		●
	冬限定プログラムの造成		● ●
	冬の大規模イベントの魅力向上		● ●

②推進が必要な取組

観光客が、大都市に滞在しながら、気軽に様々なウィンタースポーツを体験できることは、冬季オリンピック開催都市札幌ならではの強みであり、スキーヤーにとっても一般旅行者にとっても魅力的な観光コンテンツになるものと考えられることから、ウィンタースポーツ体験コンテンツの更なる充実に向けた取組を重点取組として定めます。

推進が必要な取組

重点 2-① ウインタースポーツ体験コンテンツの充実

取組内容	都心部で観光客が気軽にウィンタースポーツを体験できるコンテンツの創出、都市の景観の中でウィンタースポーツを体験する特別感の演出、ウィンタースポーツ施設の活用など、ウィンタースポーツの拠点都市札幌ならではの観光コンテンツの充実を図ります。				
想定される実施主体	関連事業者(各実行委員会、協賛企業等) 関係団体(競技団体、スポーツコミッション等) 札幌市(事業支援、市有施設活用)	誘客戦略1	●	誘客戦略2	●

<具体的な取組>

項目	内容
都心部でのスケートリンクの設置	旧道庁赤レンガ庁舎前にある北3条広場(通称アカプラ)にアイスリンクを設置し、都心部でのスケート体験を提供するとともに、ホワイトイルミネーションと連携したライトアップやアイスショー等により、ナイトタイムのコンテンツとしての魅力を創出
都心部クロスカントリースキー大会の開催	大通公園と周辺道路を会場としたクロスカントリースキー競技の国際大会を開催し、都心のビル群を駆け抜けるアスリートの走りを観戦できるとともに、クロスカントリースキーの体験を可能とする。
ウィンタースポーツの魅力を発信するコンテンツの充実	大通公園や中島公園などでのスキー・スノーボード等の体験イベント、地下街等でのVR体験イベント、オリンピックミュージアムの活用など、ウィンタースポーツの魅力を発信するコンテンツの充実
ウィンタースポーツ施設の活用	ジャンプ競技場、リージュコース、スケート場、カーリング場などのウィンタースポーツ施設を活用し、競技大会の開催や体験教室の充実など、観光客がウィンタースポーツを体験できる機会の充実

推進が必要な取組

2-② 都心部近郊や定山溪周辺での雪体験コンテンツの充実

取組内容	より多くの観光客に札幌の雪の魅力を体感してもらえるよう、都心部近郊や定山溪周辺において、観光客が手軽に雪遊びやスノーアクティビティが楽しめるコンテンツの充実を図ります。			
想定される実施主体	関係団体(札幌観光協会、定山溪観光協会) 関連事業者(アクティビティ事業者等) 札幌市(事業支援、市有施設活用)	誘客戦略1	誘客戦略2	●
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・羊ヶ丘展望台、モエレ沼公園などでの雪体験コンテンツの魅力向上 ・雪三舞や雪灯路などの定山溪周辺での雪体験イベントの拡充 ・定山溪周辺の自然を活かしたスノーアクティビティ体験コンテンツの創出 			

2-③ 冬限定プログラムの造成

取組内容	食や夜景、温泉、芸術・文化といった既存の観光コンテンツに、冬や雪の魅力を掛け合わせることで、札幌の冬ならではの特別感のあるプログラムの造成を目指します。			
想定される実施主体	関連事業者(飲食事業者、観光施設等) 札幌市(事業支援、市有施設活用)	誘客戦略1	●	誘客戦略2 ●
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・雪体験をしながら北海道の味覚が味わえるサービスの提供 ・新日本三大夜景都市認定の夜景の冬ならではの魅力や楽しみ方を提案 ・雪景色を眺めながらの露天風呂体験など、冬の温泉の楽しみ方を提案 ・札幌芸術の森などで、冬と芸術・文化を掛け合わせた企画やイベントを実施 			

2-④ 冬の大規模イベントの魅力向上

取組内容	さっぽろ雪まつりやホワイトイルミネーションといった大規模イベントの更なる魅力向上や雪まつり後のにぎわい創出を目指します。			
想定される実施主体	各イベント実行委員会 関係団体(観光協会、商工会議所等) 関連事業者(協賛企業等) 札幌市(事業支援)	誘客戦略1	●	誘客戦略2 ●
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの多言語化や翻訳機の導入などインバウンド対応強化 ・各イベントにおいて、VRやAR等のICTを活用した魅力向上 ・2月下旬から3月のイベント閑散期における、スノーアクティビティに関連した新たなイベントやキャンペーンなどの実施 			

(3) **基本方針3** ブランド力向上や周遊促進に向けた事業者連携の推進

①取組の方向性

スキー場を始めとした雪の街としての魅力と、一定のブランド力を誇り、他のスノーリゾートと比較して圧倒的に豊富な観光資源を有する国際観光都市としての魅力の両方を合わせて楽しむことが、札幌の最大の強みであり、その強みを最大限に活かすためには、関連する事業者が一体となって取り組むことが重要です。

そこで、基本方針1、2の取組により市内スキー場と冬の観光コンテンツの魅力を高めることに加えて、事業者同士の連携を推進し、街全体でスノーリゾートとしてのブランド力を高め、周遊促進や観光消費拡大につなげていくための取組を基本方針3として掲げます。

基本方針3 『ブランド力向上や周遊促進に向けた事業者連携の推進』

目指す姿 (10年後に 実現したい姿)	<ul style="list-style-type: none"> 市内6スキー場が連携し、1つのスノーリゾートとしての一体感が醸成されている。 スキー場を始めとした雪体験コンテンツと大都市札幌の都市観光の両方を楽しむための商品やサービスが多彩に提供され、それが札幌のスノーリゾートとしてのブランド化につながっている。 スキー場と関連事業者が連携した周遊促進や観光消費拡大に向けた取組により、地域への経済波及効果が高まっている。 			
課題	<ul style="list-style-type: none"> ✓市内スキー場の一体感の醸成に向けた企画・サービスの提供 ✓雪体験コンテンツと都市観光の両方を合わせて楽しむ企画・商品造成 ✓周遊促進や観光消費拡大に向けたビジネスマッチングの機会創出 			
取組の 方向性	市内6スキー場や関連事業者が連携した企画や商品造成等により、街全体でスノーリゾートとしてのブランド力を高めるとともに、周遊促進や滞在日数の長期化による観光消費拡大を図ります。			
推進が 必要な取組	取組項目	重点 取組	誘客戦略との関連	
			戦略①	戦略②
	市内6スキー場のトータルブランディングの推進	★	●	●
	雪体験と都市観光の両方を楽しむ商品やサービスの提供		●	●
	札幌が誇る食ブランドとスキー場の連携		●	●
	スキーヤーのニーズを意識した企画・商品開発		●	

第1章
第2章
第3章
第4章
第5章
第6章
資料

②推進が必要な取組

市内各スキー場のゲレンデ規模や現状の知名度を考慮すると、個々のスキー場の取組だけでは限界があり、市内6スキー場が一体となって、1つのスノーリゾートとしてのブランド力向上に取り組むことが重要であることから、市内6スキー場が連携したトータルブランディングの推進を重点取組として定めます。

また、札幌が誇る観光都市としてのブランド力や都市観光の魅力を、スキー場を始めとした雪体験コンテンツと融合させるための事業者同士が連携した取組を、その他の取組として掲げます。

推進が必要な取組

重点 3-① 市内6スキー場のトータルブランディングの推進

取組内容	市内6スキー場が連携した取組により、スノーリゾートとしての一体感を演出し、6スキー場トータルでのブランド化や発信力の強化、スキー場間の周遊促進を図ります。				
想定される実施主体	スキー場事業者 関係団体(競技団体、スポーツコミッション等) 関連事業者(用品メーカー、協賛企業等) 札幌市(事業支援)	誘客戦略1	●	誘客戦略2	●

<具体的な取組>

項目	内容
共通利用サービスの提供	市内6スキー場共通で利用可能な割引チケットなど、6スキー場の一体化を象徴する商品の企画・販売。共通リフト券や共通シーズン券など、市内6スキー場が1つのスキー場のように利用できるサービスの提供を目指す。
6スキー場が連携したレッスン技術のブランド化	多言語インストラクターの確保・派遣・教育やレッスンプログラムの開発などに、市内6スキー場が連携して取り組むことで、サービスレベルの向上・統一化を図るなど、札幌のレッスン技術のブランド化
スキー場同士の連携によるサービスレベルの向上	修学旅行やスキー授業、団体客の受入等にあたり、各スキー場単独で対応できない場合の相互協力の推進、案内サイン等の統一化など、6スキー場の連携によるサービスレベルの向上を目指す。
合同キャンペーンの実施	市内6スキー場が合同で、来場者プレゼントや割引サービス等のキャンペーンを、関連企業の協賛を得るなど他事業者とも連携して実施
連携イベントの開催	市内6スキー場が、時期やターゲット等を合わせた連携イベントを実施し、一体的にプロモーションすることで、イベントの周知効果を高めるとともに、スキー場間の周遊を促進

推進が必要な取組

3-② 雪体験と都市観光の両方を楽しむ商品やサービスの提供

取組内容	様々な事業者を巻き込み、冬の札幌をお得に周遊できる仕掛けの構築や、観光客の多様なニーズに対応した旅行商品の造成・販売などにより、観光客の回遊性と満足度の向上を図ります。				
想定される実施主体	関連事業者 (旅行会社、飲食事業者、商業・観光施設等) 関係団体 (観光協会、商工会議所等) 札幌市 (事業支援)	誘客戦略1	●	誘客戦略2	●
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> 雪体験と都市観光がお得に楽しめる特典付き周遊 PASS の企画・販売 各種イベント等と連携したスタンプラリーなどの周遊企画 観光客のニーズに応じて、雪体験、観光、宿泊、二次交通等を一括して手配できる旅行商品の造成・販売 (長期滞在、富裕層向け、ワーケーション等) 				

3-③ 札幌が誇る食ブランドとスキー場の連携

取組内容	ブランド力の高い札幌の食とスキー場が連携した取組により、スキー場利用者の食に対する満足度向上や、スキー場のブランド化を目指します。				
想定される実施主体	スキー場事業者 関連事業者 (飲食事業者)	誘客戦略1	●	誘客戦略2	●
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> 有名店によるスキー場レストランの飲食メニュー (グレ食) のプロデュース 市内飲食店とのコラボレーションによるスキー場限定商品の開発 さっぽろスイーツとスキー場が連携したスキー場でのスイーツ販売 				

3-④ スキーヤーのニーズを意識した企画・商品開発

取組内容	スキー場と飲食店や商業施設等が連携した、スキーヤーのニーズを意識した商品開発・販売促進により、スキーヤーのアフタースキーへの誘導や市内での観光消費喚起を図ります。				
想定される実施主体	スキー場事業者 関連事業者 (飲食・宿泊事業者、商業施設、用品メーカー等)	誘客戦略1	●	誘客戦略2	
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> スキー場利用者に対する飲食・商業・観光施設等での割引サービスの提供 飲食店や宿泊施設等におけるスキーヤーを意識したサービスの提供 用品メーカーとタイアップした限定商品の開発・販売 				

(4)基本方針4 来訪者の満足度を高めるストレスフリーなサービス・インフラの提供

①取組の方向性

札幌が目指す将来ビジョンを実現し、訪れる観光客の満足度を高めるためには、基本方針1～3の取組で生み出す札幌のスキーリゾートとしての魅力を、観光客にいかにストレスを感じることなく楽しんでもらえるかが重要です。

そこで、雪体験と都市観光の両方を、手軽に快適に効率的に楽しんでもらうためのサービスやインフラの提供に向けた取組を、基本方針4として掲げます。

なお、具体的な取組にあたっては、市内のIT関連企業と連携したICTの活用など、関連する事業者が一体となって取り組むことで、効率的・効果的な事業推進を目指します。

基本方針4 『来訪者の満足度を高めるストレスフリーなサービス・インフラの提供』

目指す姿 (10年後に 実現したい姿)	<ul style="list-style-type: none"> 訪れた観光客が、スキー場や観光施設等を効率的に周遊し、スキーリゾートシティ SAPPORO の魅力を十分に満喫できる環境が整っている。 訪れた観光客が、雪体験と都市観光の両方を、ストレスを感じることなく快適に楽しめるためのサービスが提供されている。 		
課題	<ul style="list-style-type: none"> ✓観光客が効率的に周遊するためのアクセス改善 ✓雪体験の準備時間や手荷物など観光客の負荷軽減 ✓手配・決済の利便性向上 		
取組の 方向性	雪体験と観光の両方を手軽に快適に効率的に体験できるよう、関係事業者が一体となってストレスフリーなサービスやインフラの提供に取り組む、来訪した観光客の満足度向上を図ります。		
推進が 必要な取組	取組項目	重点 取組	誘客戦略との関連 戦略① 戦略②
	スキー場や観光施設等へのアクセス向上	★	● ●
	ワンストップサービスの推進		● ●
	手ぶら観光の環境整備		● ●
	観光客受入環境整備		● ●

②推進が必要な取組

観光客にとって、旅先での移動に対する負担は、旅行におけるストレスの大きな要因であり、特に冬期間における移動は、より一層負担が大きいものとなります。

一方で、札幌が目指す将来ビジョンの実現に向けては、雪体験と都市観光を効率的に楽しめることが重要であり、そのためには都心部や宿泊施設からスキー場や観光施設等にいかに快適に移動できるかが課題となります。

よって、移動に対するストレスを軽減し、来訪者の満足度を高めるため、二次交通の充実や案内機能の強化等のスノーリゾート内でのアクセス向上に向けた取組を重点取組として定めます。

推進が必要な取組

重点 4-① スキー場や観光施設等へのアクセス向上

取組内容	都心部や宿泊施設からダイレクトにアクセスできる交通手段の提供や、観光客が公共交通機関を利用しやすい環境の整備などにより、スキー場や郊外の観光スポットへの観光客の移動のストレス軽減を図ります。				
想定される実施主体	スキー場事業者 関連事業者(交通・宿泊事業者、IT 関連企業等) 札幌市(事業支援、市営交通・市有施設関係)	誘客戦略1	●	誘客戦略2	●

<具体的な取組>

項目	内容
スキー場シャトルバスの利便性向上	スキー場、宿泊事業者、観光施設、交通事業者等の協力による、都心部や宿泊施設からスキー場・観光施設を結ぶシャトルバスの新規運行、既存路線の拡充・利便性向上
観光客のタクシー利用の促進	タクシーとスキー場の利用がセットになった商品の販売や、定額料金・デマンドサービスの提供、宿泊施設等によるタクシー手配の利便性向上など、観光客のタクシー利用の促進
観光 MaaS の推進	二次交通や観光案内等の情報を一元的に提供し、ルート検索・手配・決済等が一括して可能な観光 MaaS の実証事業の実施及び実用化の推進
公共交通機関を快適に利用できる環境の整備	スキー場等への公共交通機関でのアクセスについて、Web サイトや観光アプリ、パンフレット等での分かりやすい案内、バスターミナル等での案内サインの充実、SAPICA の利用促進など、観光客に快適に利用してもらえる環境の整備

推進が必要な取組

4-② ワンストップサービスの推進

取組内容	観光客の利便性を高めるため、スキー場やスノーアクティビティの利用に係る準備・手配・決済等がまとめて手続きできるサービスの提供を目指します。				
想定される実施主体	スキー場事業者 関連事業者(宿泊事業者、ショップ、IT 関連企業等)	誘客戦略1	●	誘客戦略2	●
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・宿泊施設や都心部のショップ等で、リフト券購入、レンタル予約、アクティビティ申込などの手配をワンストップで実施するサービスの提供 ・ネット上やアプリ上での手配を可能とするなど ICT を活用したサービス向上 				

4-③ 手ぶら観光の環境整備

取組内容	スキー用具やスーツケースなど、大きな手荷物の持ち運び負担を軽減するため、荷物の配送・預かりサービスなど、観光客が手ぶらで観光できる環境の充実を目指します。				
想定される実施主体	スキー場事業者 関連事業者(宿泊・交通事業者、観光施設等) 関係団体(観光協会、商工会議所等) 札幌市(市有施設活用)	誘客戦略1	●	誘客戦略2	●
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・空港や宿泊施設、スキー場等での荷物配送サービスの実施 ・駅や観光施設等での荷物預かりサービスの実施 				

4-④ 観光客受入環境整備

取組内容	インバウンドや富裕層を含めた観光客が、ストレスを感じることなく快適に、施設の利用や知りたい情報の収集が可能となるよう、受入環境の整備を進めます。				
想定される実施主体	関連事業者(観光施設、商業施設等) 札幌市(事業支援、市営交通・市有施設関係)	誘客戦略1	●	誘客戦略2	●
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ハイグレードホテルの誘致や宿泊施設の富裕層向け改修の促進 ・観光施設や地下鉄駅等での、無料 Wi-Fi 環境の整備・充実 ・各種案内表示の多言語化の推進 ・飲食・商業・観光施設、交通機関等におけるキャッシュレス化の推進 ・地下鉄駅等におけるトイレ洋式化の推進 				

(5) **基本方針 5** スノーリゾートとしてのブランド化を目指したマーケティングの強化

①取組の方向性

スノーリゾートとしてのブランド化に向けては、基本方針1～3の取組により創出する札幌の魅力を世界に向けて発信し、認知度を高めていく必要があります。

また、実際に観光客の誘客につなげていくためには、ターゲットのニーズや属性に合わせた効果的なプロモーションの実施が必要となります。

そこで、スノーリゾートとしてのブランド化を目指し、マーケティングを強化していくための取組を基本方針5として掲げます。

基本方針 5 『スノーリゾートとしてのブランド化を目指したマーケティングの強化』

目指す姿 (10年後に 実現したい姿)	<ul style="list-style-type: none"> ・ スキー場、スノーアクティビティ、都市観光といった札幌が有する冬の魅力が一体的に発信され、スノーリゾートとしての世界的な認知度を得ている。 ・ 届けたいターゲットのニーズや属性に合わせて、必要な情報を的確に提供できている。 ・ 来訪者の動態・満足度・評価等を継続的に把握し、その結果が新たな魅力の創出やプロモーションなどに活かされている。 																								
課題	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 観光客の属性・動態・満足度等を継続的に把握するための仕組みの構築 ✓ 旅ナカ、旅ナカにおける多言語での情報発信の強化 ✓ ターゲットの特性を踏まえた効果的なプロモーションの実施 																								
取組の方向性	<p>来訪者の属性・動態・満足度等のデータを把握・分析したうえで、ターゲットに合わせた効果的なプロモーションを実施するとともに、スキー場と観光コンテンツの魅力を一体的に発信することで、スノーリゾートとしてのブランド化を目指します。</p>																								
推進が必要な取組	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">取組項目</th> <th rowspan="2">重点取組</th> <th colspan="2">誘客戦略との関連</th> </tr> <tr> <th>戦略①</th> <th>戦略②</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世界的認知度向上に向けた一体的な情報発信</td> <td style="text-align: center;">★</td> <td style="text-align: center;">●</td> <td style="text-align: center;">●</td> </tr> <tr> <td>継続的なマーケティング調査の実施</td> <td></td> <td style="text-align: center;">●</td> <td style="text-align: center;">●</td> </tr> <tr> <td>旅ナカにおける情報発信強化</td> <td></td> <td style="text-align: center;">●</td> <td style="text-align: center;">●</td> </tr> <tr> <td>スキーヤー向けプロモーション強化</td> <td></td> <td style="text-align: center;">●</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	取組項目	重点取組	誘客戦略との関連		戦略①	戦略②	世界的認知度向上に向けた一体的な情報発信	★	●	●	継続的なマーケティング調査の実施		●	●	旅ナカにおける情報発信強化		●	●	スキーヤー向けプロモーション強化		●			
取組項目	重点取組			誘客戦略との関連																					
		戦略①	戦略②																						
世界的認知度向上に向けた一体的な情報発信	★	●	●																						
継続的なマーケティング調査の実施		●	●																						
旅ナカにおける情報発信強化		●	●																						
スキーヤー向けプロモーション強化		●																							

第1章
 第2章
 第3章
 第4章
第5章
 第6章
 資料

②推進が必要な取組

スノーリゾートとしての世界的な認知度を高めていくためには、あらゆる情報媒体や様々なプロモーション機会を活用し、札幌の魅力を積極的に世界に発信していくことが求められます。

特に、大都市に滞在しながら本格的な雪体験ができるという札幌の強みを積極的に発信する必要があることから、スキー場やスノーアクティビティ等の雪体験の魅力と都市観光の魅力の両方を一体的に発信する取組を重点取組として定めます。

推進が必要な取組

重点 5-① 世界的認知度向上に向けた一体的な情報発信

取組内容	スキー場やスノーアクティビティなどの雪体験の魅力と、飲食・宿泊・交通・観光コンテンツなどの都市観光の魅力の両方を、海外に向けて一体的に発信することで、スノーリゾートシティ SAPPORO の世界的な認知度向上を図ります。				
想定される実施主体	スキー場事業者 関連事業者(旅行会社、メディア等) 関係団体(観光協会、スポーツコミッション等) 札幌市(事業支援、プロモーション)	誘客戦略1	●	誘客戦略2	●

<具体的な取組>

項目	内容
多言語 Web サイトでの一体的な情報発信	市内6スキー場、冬の観光コンテンツ、宿泊・交通など、スノーリゾートシティ SAPPORO のあらゆる情報を一体的に発信する多言語 Web サイトの構築、インバウンドに対する旅マエでの一元的な情報発信
一般旅行者向けプロモーションの強化	商談会や旅行博等での PR、観光パンフレットや公式 HP 等での紹介、Web や SNS での広告など、一般旅行者に向けた様々な札幌観光のプロモーション機会において、札幌の冬の魅力を積極的に発信
滞在プラン、モデルルートの提案	スキーなどの雪体験と、観光コンテンツや飲食・商業施設等の都市観光の両方が満喫できるモデルルートを提案し、スノーリゾートシティ SAPPORO でしか体験できない滞在プランを世界に向けて発信
プロモーションツールの制作	スノーリゾートシティ SAPPORO のブランドイメージに沿ったプロモーション映像や、雪体験と都市観光の魅力を一体的に紹介するパンフレットなどのプロモーションツールを多言語で制作し、様々なプロモーションに活用

推進が必要な取組

5-② 継続的なマーケティング調査の実施

取組内容	アンケート調査や ICT を活用したデータ分析などにより、来札観光客やスキー場来場者等の属性・ニーズ・動態等を継続的に把握・分析し、取組の効果を検証したうえで、その結果を次の取組に活かしていきます。				
想定される実施主体	スキー場事業者 関連事業者(観光施設、IT 関連企業等) 札幌市(事業支援、統計調査実施)	誘客戦略1	●	誘客戦略2	●
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> 観光客やスキー場来場者等へのアンケート調査の実施 Wi-Fi センサーや携帯基地局データ等を用いた人流調査の実施 アプリによる属性情報の把握、位置情報の取得による動態分析、顧客情報管理など、ICT を活用した新たなマーケティング手法の実証及び実用化 				

5-③ 旅ナカにおける情報発信強化

取組内容	札幌を訪れた観光客に向けた旅ナカにおける情報発信を強化し、スキーヤーに対する観光への誘導や、一般旅行者に対する雪体験への誘導を促進します。				
想定される実施主体	スキー場事業者 関連事業者(宿泊・交通事業者、観光・商業施設等) 関係団体(観光協会、商工会議所等) 札幌市(事業支援、案内所活用)	誘客戦略1	●	誘客戦略2	●
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> 雪体験メニューを一元化して、旅行者に対して積極的に情報発信 宿泊施設、観光案内所、スキー場、交通機関、ショップ等における情報発信 イベント等の会場に情報発信 フリーペーパーの配布による情報発信 				

5-④ スキーヤー向けプロモーション強化

取組内容	スキーを主目的とするターゲットにピンポイントで届けるプロモーションを実施し、スノーリゾートとしての認知度向上を目指します。				
想定される実施主体	スキー場事業者 関連事業者(旅行会社、メディア等) 関係団体(スポーツコミッション) 札幌市(事業支援、プロモーション)	誘客戦略1	●	誘客戦略2	
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> スキーツーリズムのエージェントに対する営業活動 スキー専門メディアでの発信 スキーヤーに影響力のあるインフルエンサー招請 				

(6)基本方針6 道内スノーリゾートとの広域連携の促進

①取組の方向性

広域連携ビジョンの実現に向けては、都市観光の魅力や充実した観光インフラ、交通拠点としての機能など、札幌ならではの強みを発揮し、北海道のスノーリゾートエリアとしての価値を高めることが必要となります。

また、道内スノーリゾートとの周遊を促進することで、道内スノーリゾートを目的としたスキューヤーの札幌への立ち寄りや、札幌でスキーデビューした初心者スキューヤーが、ステップアップとして道内スノーリゾートを訪れるなど、相互に誘客効果を発揮することが期待されます。

そこで、道内の他のスノーリゾートの魅力に札幌の魅力をプラスすることで、北海道の更なるブランド価値向上を目指し、広域連携の促進に向けた取組を基本方針6として掲げます。

基本方針6 『道内スノーリゾートとの広域連携の促進』

目指す姿 (10年後に 実現したい姿)	<ul style="list-style-type: none"> 道内スノーリゾートの魅力と札幌の魅力が一体的に発信されることで、北海道のスノーリゾートエリアとしての世界的認知度が高まっている。 多くの観光客が札幌と道内スノーリゾートを周遊しており、訪れた観光客の満足度向上や観光消費拡大につながっている。 		
課題	<ul style="list-style-type: none"> ✓道内の他のスノーリゾートや関係自治体との連携強化 ✓道内周遊の促進に向けた環境整備 		
取組の 方向性	道内スノーリゾートとの連携を強化し、一体的なプロモーションや道内周遊を促進する取組により、北海道全体の一大スノーリゾートエリアとしてのブランド価値向上を目指します。		
推進が 必要な取組	取組項目	重点 取組	誘客戦略との関連 戦略① 戦略②
	道内スノーリゾートと連携したプロモーション	★	● ●
	道内周遊を促す企画・商品造成		●
	道内スノーリゾートへのアクセス向上		●

②推進が必要な取組

北海道のスノーリゾートエリアとしてのブランド価値を更に高めるためには、スキーも観光も高いレベルで楽しめる北海道の魅力を一体的に発信することが重要であり、札幌を含めた道内スノーリゾートが連携したプロモーションの実施を重点取組として定めます。

また、道内スノーリゾートと連携した企画・商品の提供や、スノーリゾート間のアクセス改善など、スキヤーの道内周遊を促進する取組をその他の取組として掲げます。

推進が必要な取組

重点 6-① 道内スノーリゾートと連携したプロモーション

取組内容	道内の各スノーリゾートの魅力に、札幌の観光都市としての魅力や拠点としての機能をプラスし、道内のスキー場や自治体と連携したプロモーションに取り組むことで、スノーリゾートエリアとしての北海道の更なるブランド力向上を目指します。				
想定される実施主体	スキー場事業者 関係団体(スポーツコミッション、北海道索道協会、 北海道運輸局、北海道観光振興機構) 札幌市(事業支援、プロモーション)	誘客戦略1	●	誘客戦略2	●

<具体的な取組>

項目	内容
北海道スキープロモーション協議会 と連携したプロモーション	道内 13 のスキー場と関係自治体が加盟し、インバウンド誘致の推進を目指した共同プロモーションを実施している北海道スキープロモーション協議会(事務局:公益社団法人北海道観光振興機構)の活動と連携した海外プロモーションの強化
北海道索道協会と 連携したプロモーション	市内6スキー場を含む道内の多くのスキー場が加盟している北海道索道協会と連携した、道内スキー場が一体となった国内観光客の誘客促進
ATWS(アドベンチャートラベルワールドサミット) と連動したプロモーション	2021 年度に北海道で開催される ATWS の機会を活かし、その後の北海道におけるアドベンチャーツーリズムの推進に向けた動きと連動したプロモーション

推進が必要な取組

6-② 道内周遊を促す企画・商品造成

取組内容	道内スノーリゾートと連携した企画・商品を提供し、道内スノーリゾートと札幌の周遊によるスキヤーの満足度向上を図ります。				
想定される実施主体	スキー場事業者 関連事業者(旅行会社、交通事業者等) 関係団体(スポーツコミッション、北海道索道協会等) 札幌市(事業支援、プロモーション)	誘客戦略1	●	誘客戦略2	
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> 道内スノーリゾートと市内スキー場の共通リフト券販売 道内スノーリゾートと札幌を周遊するスキヤー向け旅行商品の造成 道内スノーリゾートと札幌の両方を楽しむモデルプランの提案 				

6-③ 道内スノーリゾートへのアクセス向上

取組内容	道内スノーリゾートへの周遊を促進するため、札幌を拠点とした道内スノーリゾートへのアクセス向上や案内機能の強化、他のスノーリゾートの情報発信などにより、スキヤーに対する道内周遊の利便性向上を目指します。				
想定される実施主体	関連事業者(旅行会社、宿泊・交通事業者等) 関係団体(スポーツコミッション) 札幌市(事業支援、案内所活用)	誘客戦略1	●	誘客戦略2	
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> 道内スノーリゾートと札幌間の二次交通の拡充・利便性向上 宿泊施設や観光案内所等における道内スノーリゾートの情報やアクセスに関する案内の強化 				